

職場のメンタルヘルス研修

— 管理職が職場で取り組むメンタルヘルス —

ねらい

管理監督者として求められる役割を理解し、職場環境の改善、部下のメンタル不調への気づきと対応、職場復帰支援のポイントを学ぶ。



講義



個人ワーク



グループワーク



ペアワーク

管理監督者には、部下の心身の健康を守る義務「安全配慮義務」が課されている。部下のメンタル不調への気づき方と対応方法(声掛け・傾聴)を学ぶとともに職場復帰支援や働きやすい職場づくりのためのポイントを確認する。



講師

一般社団法人日本経営協会 講師
Balance Communion 代表

はっとり ひろこ
服部 裕子 氏

会 場

松江会場 **オンライン受講可** 定員50名

日時 6月2日(火) 9:45~16:15

場所 島根県市町村振興センター

プログラム

午前

1. メンタルヘルスの意義と管理監督者の役割
2. 一次予防(未然予防)
~働きやすい職場づくりのために~
3. パワーハラスメントの行為者にならないための基礎知識

午後

4. 二次予防：早期発見と対処
~部下のメンタルヘルス不調に気づいたときの対応~
5. 三次予防：職場復帰支援
~ポイントとコミュニケーション~
6. 個人と組織双方が強くなるために

対 象

■全ての所属 ■中堅~管理監督者(係長、課長等)、メンタルヘルスの担当者

こんな方におすすめ!

- ◎ 働きやすい職場環境作りに向けて自身の職場の改善ポイントを知りたい
- ◎ メンタルヘルス不調に気づいたときの適切な対応方法を習得したい
- ◎ スムーズな職場復帰支援に向けて必要な配慮と対応を学びたい

受講者の声

*ハラスメントの事例から入り、メンタル不調に対応するプロセスを通しての研修だったので、とてもよく理解できた。知識、意識の補強になった。

*医師につなぐ基準、日頃からの信頼関係の構築、不調サインの察知、復職支援の方法など、大変勉強になることばかりだった。本日学んだことを共有し、皆でできること必要なことを話し合ってみたい。また、不調サインの気づきを職場全体でもできるように働きかけていきたい。